



下和泉小だより

横浜市立下和泉小学校

校長 船木 淳

あけまして おめでとうございます



澄んだ空に映える冬の富士
心が洗われます

2023年。新しい年がスタートしました。保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察いたします。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

ウィズコロナが進んだ昨年でしたが、学校も「これまでの日常」が戻りつつあります。多少の制限がある中で、目標とする、「子どもたちの資質・能力」を育成することができるよう、みんなで悩み続けた1年でした。一人一人の子育てに正解がないように、学校にも正解はありません。これはコロナ禍でなくても同じことです。でも、自分たちが正解だと信じたことは、日々アップデートしながら最後までやり抜く勇気を持ちたいと思います。

保護者・地域の皆様には、いつも温かい声をかけていただき、背中を押してもらっていて、感謝の気持ちでいっぱいです。本年もよろしくお願いいたします。



卯年 元気になったゆきち

笑顔

絆

未来

さて、4月からの「令和5年度」は本校にとって節目の年、50周年を迎えます。

そして今年卯年。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年とされています。まさに、節目の年を迎える下和泉小学校にふさわしい干支の巡りあわせです。

活動の詳細は追ってお知らせしますが、子どもたち主体の式典や様々な活動を実行できるよう、10月から準備を始めています。スローガンづくりのキーワードは「笑顔」「絆」「未来」の3つ。この言葉を大切に、活動スローガンや記念キャラクターなどを創り、50年目の1年を彩っていきたいと考えています。主役は笑顔で絆を紡ぐ子どもたち。その先にどんな未来が待っているのか、楽しみます。

うさぎといえば・・・以前お伝えした「複雑骨折したゆきち」ですが、主治医の方の丁寧な治療と、退院してからの職員や子どもたちの温かい看病により、すっかり元気になりました。寒いので飼育小屋に戻ることはしていませんが、室内で過ごし、1日に一度リハビリを兼ねて校庭の芝生を走り回っています。最近では子どもたちのメンタルケアやアニマルセラピーも担い、大活躍。「最近ちょっと疲れたなあ」というときは、職員室においていただき、ゆきちに癒されてください。